

日本原子力学会 若手連絡会について

2026年7月6日
日本原子力学会 若手連絡会
(JYGN :Japan Young Generation Network)

日本原子力学会 若手連絡会(JYGN)

日本原子力学会 若手連絡会(JYGN)とは

- ◆ 原子力に携わる若手自身の能力向上および若手の連携強化に、若手自らが取り組むことで、原子力業界全体の更なる活性化を図るための、日本原子力学会の連絡会
- ◆ 勉強会の企画や国際会議への参加等の活動を展開
- ◆ 所属するのは学会の若手有志(40歳以下)



日本原子力学会 若手連絡会

AESJ | Japan Young Generation Network

現在の主な4つの活動

若手勉強会	・「自らが学びたいことを学ぶ」をコンセプトとした勉強会(JYGNの基盤的活動) ・若手相互の話題提供と自由・本音の議論を軸に、必要に応じ専門家と意見交換
原子力若手討論会(NEFY)	・30～100名規模の大討論会。基調講演に続くグループ討論と成果発表 ・組織や専門分野を超えた共同作業を通じて相互理解とネットワークを築く
学生との対話会	・JYGNメンバーと学生でグループ討論や意見交換 ・学生の不安や疑問に若手が直接答え、学生が原子力のキャリアに進むことを応援
国際連携	・国際会議での特別セッションや基調講演登壇など、国際会議での運営に協力



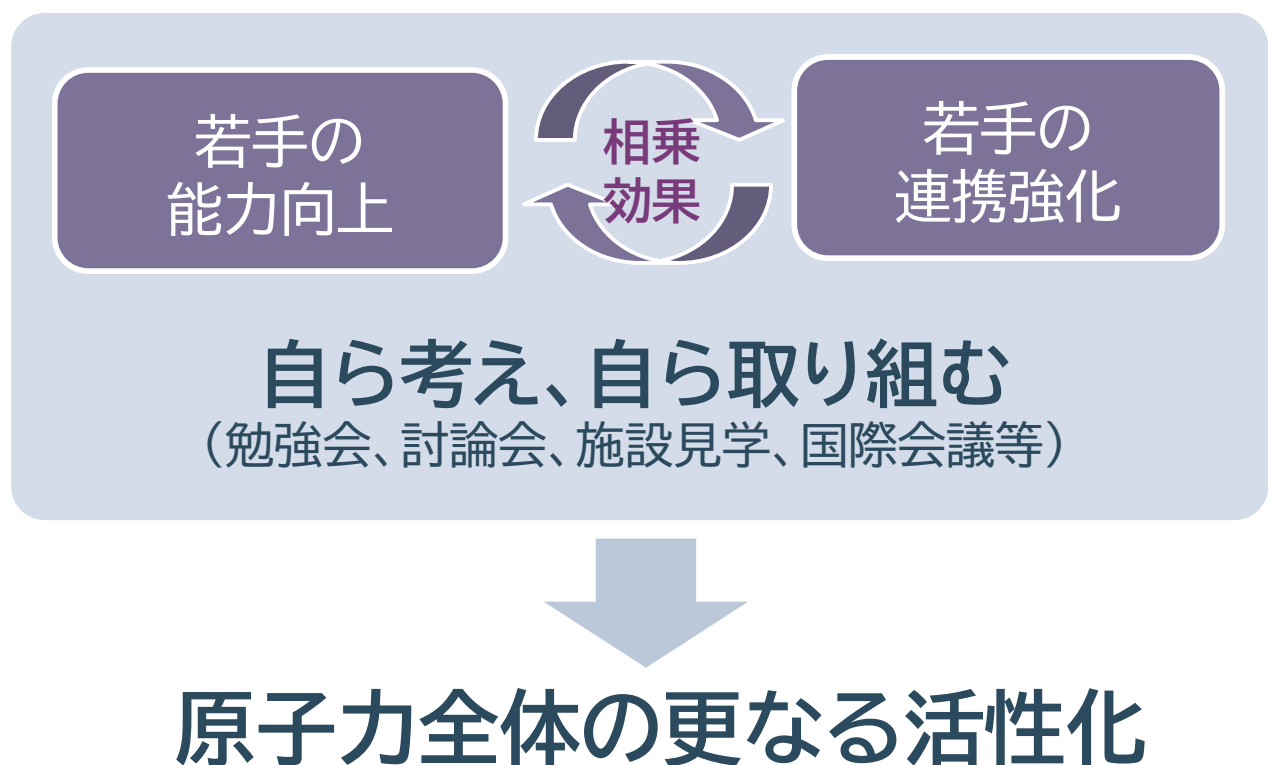
学生との対話会

IYNC
BoD meeting

NEFY討論会

3

JYGNの目指すもの



4

日本の原子力産業における構造的課題: 政策的視点

2026年7月6日



日本原子力学会 若手連絡会

AESJ | Japan Young Generation Network

若手連絡会 浅原章、川合康太

MRI

日本における主要課題

日本の原子力は政策的には再推進段階にあるが、産業基盤は階層的に弱体化している

1. 日本の原子力産業の構造的前提

- ・ 福島第一原子力発電所事故以降の厳格な規制環境
- ・ 長期停止による産業基盤の毀損
- ・ 少子高齢化による労働人口減少
- ・ エネルギー安全保障の再評価

2. 分野別課題

1	発電	・ 新規制基準対応による安全対策工事の長期化・高度化 ・ 特重施設等による常駐要員増加 ・ 人材不足(特に運転・保守・建設工事) ・ 単基サイト問題:運転・保守人材がサイト内で循環できない ・ コスト増大:安全対策+人件費増⇒市場競争力の低下懸念
2	新設	・ ファイナンス課題(投資回収の予見性不足) ・ EPC・メーカーの人材不足 ・ 技術継承の断絶リスク ・ サプライチェーンの縮小
3	燃料サイクル	・ 事業開始遅延による不確実性 ・ 人材確保の難しさ(より専門性が必要) ・ アカデミアで扱いづらい領域(核物質防護等)+関連教員・研究室の減少
4	廃止措置	・ 「儲からない」事業という認識 ・ 処分場未確保に伴う一時保管場所確保の必要性 ・ 跡地利用計画の欠如によるインセンティブ低下
5	地層処分	・ 文献→概要→詳細調査の各段階での合意形成 ・ 市町村 → 知事という階層構造 ・ 知事に政治的メリットが少ない制度設計

日本における主要課題

3.横断的な構造課題(Core Challenges)

1	人材確保	- 労働人口減少 - 働き方改革(工事分野への影響大) - 長期プロジェクトによるキャリアの不透明性 - 若者にとっての「魅力ある成長産業」イメージ不足
2	人材育成	- 教員減少 - 教育炉減少 - 放射性物質取扱施設減少 - 学際分野(機械・電気)からの流入低下 →「教育インフラの縮小」
3	サプライチェーンの弱体化	- 長期停止による発注減 - 中小企業撤退 - 技術継承困難 - 単基サイトによる人材固定化
4	事業リスクとファイナンス	- 政策変動リスク - 訴訟リスク - 規制対応の長期化 - 投資回収の予見性不足

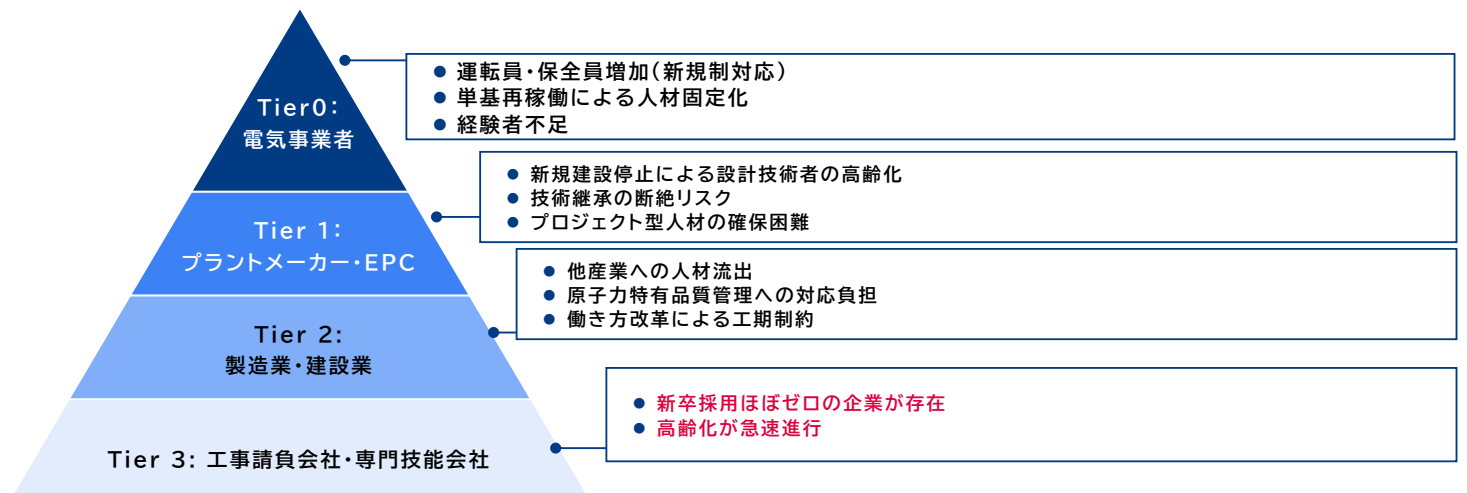
日本における主要課題

4. 人材課題: サプライチェーン階層別整理「人材問題は「階層構造」で起きている」

日本の原子力SCは以下の多層構造:

- Tier0:電気事業者(Utility)
- Tier1:プラントメーカー・EPC
- Tier2:製造業・建設業
- Tier3:工事請負会社・専門技能会社

※EPC: 設計(Engineering)・調達(Procurement)・建設(Construction)の一括請負



日本における主要課題

5.産官学レイヤーでの整理

1	学術界(アカデミア)	・ 教員減少 ・ 教育炉減少 ・ 実験設備減少 ・ 原子力を専攻しない学生(機械、電気)の関心低下 ・ 目玉プロジェクトの欠如
2	研究開発セクター	・ 産業ニーズとの接続不足 ・ 実証機会の不足 ・ 長期テーマへの安定投資不足
3	産業	・ 収益確保困難 ・ 長期停止による技術空洞化 ・ 人材高齢化 ・ 次世代リーダー層の薄さ
4	政府	・ 政策一貫性の確保 ・ 地域合意形成の制度設計 ・ ファイナンス支援の枠組み

ご清聴ありがとうございました。
 本階層的な課題の整理が本日のグループディスカッションでも
 お役に立てていただけると幸いです。